

事務事業実績測定調査

10211010001	人権啓発事業		
測定年度	2019(R1)年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	43.すべての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう、人権教育・啓発の推進を図ります。	
	実行計画事業名	人権啓発推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1986(S61)年度		～		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	人権問題に関して学び、考えることで、市民の人権意識が向上出来ている状態。				
事業概要	<p>人権が尊重されるまちづくりをめざして、啓発事業を実施する。○連続講座「生きること」 講師に自らの体験を語ってもらい、参加者が「生きること」とは何かを考えるきっかけを提供する。○人権文化セミナー 高齢者、女性、障害者など様々な人権問題に関する講演会や映画会などを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。○人権週間事業 毎年12月4日から10日の「人権週間」に併せて街頭啓発や講演会などを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 毎年12月10日から16日の「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に併せて拉致問題をはじめとする人権侵害問題に関するパネル展などを実施し、市民の関心と認識を深める。以上の事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会へ委託。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	<p>人権啓発事業(人権文化セミナー、人権週間事業、講座「生きること」)のアンケート結果における「とても良かった」及び「良かった」の割合。実績ベース(95%)から毎年1%を目途に上昇を目指し、R5年度は99%を目標とする。 【算出式:「とても良かった」及び「良かった」と回答した人数/アンケート回答数×100】</p>					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
目標(予測)	—	96	97	98	単位	%
実績	94.87					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.23	0.23	0.22
正職員数	0.23	0.23	0.22
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,811	1,829	1,764
正職員人件費(換算額)	1,811	1,829	1,764
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	5,156	9,518	9,724
■事務事業の総計(千円)	6,967	11,347	11,488
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,967	11,347	11,488

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	77.05%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	<p>○連続講座「生きること」の開催(9/19、26、10/2、9の全4回 182人)及び記録冊子の作成・配架 ○人権文化セミナーの開催 映画「ケアニン～あなたでよかった～」(9/18 235人) ○人権週間事業 ・街頭啓発(12/3 京阪電車枚方市駅・樟葉駅、JR長尾駅) ・野田あすかさん ミニ演奏会～あなたはあなたのままで～、野田恭子さん 講演会～発達障害の娘との37年～(12/8 291人) ○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展(12/8 人権週間事業と同時実施したため、参加者数は同事業に含む。)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と連携し、より効果的な啓発事業を実施する。	

事務事業実績測定調査

10211010002	人権擁護委員関係事務		
測定年度	2019(R1)年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	43.すべての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう、人権教育・啓発の推進を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	人権擁護委員法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の基本的な人権を擁護し、自由人権思想の普及と高揚につながる人権擁護委員の様々な活動が効果的、円滑に行われている状態。				
事業概要	本市には、国民に保障された基本的な人権を擁護するために設けられた人権擁護委員(2020年1月1日現在16人)が法務省から委嘱されており、その活動を支援する。活動内容は、人権相談、人権週間街頭啓発及び人権特設相談、法務局常設・常駐人権相談、人権作文コンテスト(中学生対象)、人権の花運動(小学生対象)、人権教室(小学生対象)、スマホ・ケイタイ人権教室(小・中学生対象)、定例会、現地研修会等を実施。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	啓発事業に参加した児童・生徒数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
目標(予測)	—	6,400	6,400	6,400	単位	人
実績	5,068					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.63	0.63	0.54
正職員数	0.63	0.63	0.54
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,961	5,009	4,329
正職員人件費(換算額)	4,961	5,009	4,329
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	478	307	307
■事務事業の総計(千円)	5,439	5,316	4,636
国庫支出金	0	0	0
府支出金	350	150	150
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,089	5,166	4,486

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>人権擁護委員で構成される「枚方地区人権擁護委員会」の事務局として、定例会・研修会などを開催し、人権擁護委員の活動の補助を行った。 (人権作文コンテスト応募数2,110作品、人権の花運動358人、人権教室322人、スマホ・ケイタイ人権教室2,278人。また、当初予定していた人権教室の一部ががコロナウイルス感染症の影響で中止となる。)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	枚方地区人権擁護委員会の円滑な活動を支援する。	

事務事業実績測定調査

10211010008	性的マイノリティ支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11. すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	43. すべての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう、人権教育・啓発の推進を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2020 (R2) 年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もがLGBTなどの性的マイノリティに関して理解し、SOGIに関わりなく、自分らしく生きることができる状態				
事業概要	性の多様性の理解促進に向けて、平成31(2019)年3月に、性的マイノリティ支援宣言「ひらかた・にじいる宣言」を行い、4月よりLGBTなどの性的マイノリティ当事者のカップルが互いをパートナーであると宣誓したことを市が公的に証明する「パートナーシップ宣誓制度」、LGBT専門電話相談、7月よりコミュニティスペースを開始。また、誰もが多様性を認め合い、いきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりを進めるため、市民向けの啓発講座、職員向け研修を継続して実施する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	LGBTなど性的マイノリティに対する理解が深まったと答えた人の割合 【算出式: アンケートにより理解が深まったと回答した人数/参加者人数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90	91	92		
実績	93.6					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.36
正職員数	0.00	0.00	0.34
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.02
再任用職員数	0.00	0.00	0.02
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	2,828
正職員人件費(換算額)	0	0	2,726
非正規職員人件費(計)	0	0	102
再任用職員人件費(換算額)	0	0	102
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	755
■事務事業の総計(千円)	0	0	3,583
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	3,583

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>平成31(2019)年3月に性的マイノリティの方を市が積極的に支援することを表明した「ひらかた・にじいろ宣言」を行い、4月から「パートナーシップ宣誓制度」を導入、元年度で9組の宣誓があった。また同じく4月からLGBT専門電話相談、7月からは当事者と支援者が気軽に集まり情報交換できる場所として、コミュニティスペース「ひらかた・にじいろスペース」を月1回のペースで開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBT専門電話相談 8件 ・ひらかた・にじいろスペース 計9回 延べ75人 <p>また、市民参画型啓発事業の「ウィル・フェスタ2019」において性的マイノリティ当事者でシンガーソングライターの方の講演会とコンサート(89人)や小中学生の絵画展、当事者団体の講演会、LGBTパネル展を行った(講演会は「市民参画型啓発事業」の経費で実施)。</p> <p>ウィルdeシネマで「愛と法」(2回上映 135人)、「空と、木の実と。」(51人)、ウィル寄り道映画会「空と、木の実と。」(14人)を上映した(「男女共同参画啓発事業」の経費で実施)。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>パートナーシップ宣誓制度、LGBT専門電話相談、ひらかた・にじいろスペースなど当事者に対する施策をさらに充実させ、周知していくとともに、支援者(=アライ)の育成に向けた市民に対する啓発事業、職員に対する研修にも継続して取り組んでいく。パートナーシップ宣誓制度が使える市の制度を拡大していけるよう庁内環境の整備に取り組む。</p>	

事務事業実績測定調査

10211020001	DV防止事業		
測定年度	2019(R1)年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	44.配偶者等からの暴力(DV)や、高齢者、障害者などへのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図ります。	
	実行計画事業名	配偶者暴力相談支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	DV等の暴力がない環境で誰もが自分らしく生活することができる状態。				
事業概要	<p>女性に対するあらゆる暴力を根絶するための啓発活動と相談支援体制の強化を図る。・DV被害者支援の専門相談機関「枚方市配偶者暴力相談支援センター」において、DV被害者からの相談を受ける。・男女共生フロアを拠点として、女性に対する暴力をなくす運動期間事業など講座を実施する。・枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議及び研修会により連携強化を図る。・教育委員会と連携し、「DV予防教育プログラム」を実施し、そのプログラムを踏まえ教職員を対象に研修を実施する。・緊急一時保護事業・DV相談窓口案内カード、リーフレットの配布、車体広告掲示、HP等による情報提供を行う。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	「暴力は受ける側にも問題や原因があると思う」と答える中学生の割合 【算出式: アンケートにより暴力は受ける側にも問題や原因があると思うと回答した人数/DV予防教育プログラム参加人数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	40	35	30		
実績	44.7					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.69	2.68	2.48
正職員数	1.14	1.08	1.01
非正規職員数(計)	1.55	1.60	1.47
再任用職員数	0.05	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.50	1.50	1.31
臨時職員数	0.00	0.00	0.06
■人件費総額(千円)	12,566	13,124	12,346
正職員人件費(換算額)	8,976	8,587	8,097
非正規職員人件費(計)	3,590	4,537	4,249
再任用職員人件費(換算額)	222	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	3,368	4,045	3,539
臨時職員人件費(実額)	0	0	200
■直接経費(千円)	2,239	2,104	2,609
■事務事業の総計(千円)	14,805	15,228	14,955
国庫支出金	1,411	2,233	1,959
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	13,394	12,995	12,996

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>女性に対するあらゆる暴力を根絶するための啓発活動と相談支援体制の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者支援の専門相談機関「枚方市配偶者暴力相談支援センター」において、面接456件、電話721件の相談を受けた。 ・男女共生フロアを拠点として、女性に対する暴力をなくす運動期間事業のうちの法律講座など講座等10回(参加者延べ42人)を実施した。 ・枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議開催(1回)及び研修会(1回)により、関係機関の連携強化を図った。 ・配偶者とのトラブルを抱え込んでいる女性同士が安全・安心な環境で語り合い、共に考える場を提供する、臨床心理士を講師とした被害者相互支援プログラム「DV被害者心のケア事業」を実施した。 ・教育委員会と連携し、DV予防教育として、市内小学校10校の4年生793人を、また中学校12校の2,050人を対象に「DV予防教育プログラム」を実施した。また同プログラム実施の小学校において、放課後研修として、教職員244人を対象に同プログラムを踏まえた教職員研修を実施した。 ・緊急避難支援事業:同行支援6件 ・DV相談窓口カード、リーフレットの配布、HP等による情報提供を行った。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>「ひらかたDV相談室」を中心に、潜在的な被害者の救済につながるようにPRを強化して相談・支援体制の充実に努めるとともに、DVを防止する観点から若年層への予防教育に取り組むため、教育委員会と連携し、市内小中学生を対象とした「DV予防教育プログラム」を効果的に実施できるよう継続的に取り組む。DV被害者の心のケアを実施するため「DV被害者心のケア事業」を継続的に実施する。</p>	

事務事業実績測定調書

10211020002	いじめ問題再調査委員会運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11. すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	44. 配偶者等からの暴力(DV)や、高齢者、障害者などへのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	いじめ防止対策推進法・枚方市いじめ問題再調査委員会条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市いじめ問題再調査委員会が円滑に運営できている状態。				
事業概要	市長の諮問応じ、法第28条第1項の規定による調査の結果について調査する。				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.04	0.04
正職員数	0.03	0.04	0.04
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	318	321
正職員人件費(換算額)	236	318	321
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	236	318	321
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	236	318	321

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	委員会の開催はなかった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	当該事象が発生し委員会開催の必要があると認められた際には、速やかな委員委嘱と円滑な調査が行われるよう、事務局として運営にあたる。	

事務事業実績測定調書

10211020003	人権ケースワーク事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11. すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	44. 配偶者等からの暴力(DV)や、高齢者、障害者などへのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2002 (H14) 年度		～		
根拠法令等	枚方市人権尊重のまちづくり条例、障害者差別解消法、部落差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	気軽に相談を受け、専門的な助言や各種情報を入手できることで、市民自らが人権に関する問題を解決できる状態。				
事業概要	専門の相談員を配置し、市民が人権侵害を受け、又はその恐れがある場合において、相談事業に応じた助言及び情報提供を行うとともに、市民が自ら問題解決できるよう支援を行っている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	新規相談件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	95	100	105		
実績	77					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.09	0.14	0.11
正職員数	0.09	0.14	0.11
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	709	1,113	882
正職員人件費(換算額)	709	1,113	882
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	6,917	6,630	6,528
■事務事業の総計(千円)	7,626	7,743	7,410
国庫支出金	0	0	0
府支出金	1,751	1,737	1,783
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,875	6,006	5,627

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>令和元年度の相談件数は324件(相談形式:面接24件、電話299件、他1件)。 相談の内容は、女性や男性、子ども、高齢者、障害者、外国人に関することなど多岐にわたる。面接による相談件数が前年の60%程度となった一方で、電話での相談件数が増加している。暮らしの中での困りごと、生きづらさ、職場や地域における人間関係の悩みなどの相談が多く寄せられた。 就労支援相談と進路選択支援相談については、ほぼ横ばいであり、今後も支援を行っていく必要があると思われる。また、相談体制の一部見直しを図った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な今後の取組方針	<p>相談事業の実施についてPRに努めるとともに、相談者がより安心して信頼できる相談体制を確立するため、積極的な研修などへの参加により相談員のさらなるスキルの向上をめざす。また、各種相談の相談員が必要に応じてケース診断会議を実施し、横断的に情報を共有することで、ワンストップ窓口としての機能の充実を図る。</p>	

事務事業実績測定調書

10212010001	市民参画型啓発事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	12. 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	
	取り組みの方向	45. 固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。	
	実行計画事業名	男女共同参画啓発・相談事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が男女共同参画が誰に対しても身近な施策であることを知り、主体的に男女共同参画の推進に取り組んでいる状態				
事業概要	男女共同参画社会づくり支援講座とウィル・フェスタを統合し、他部署とも連携しながら、新たに「市民参画型男女共同参画啓発事業」として再編し、女性の活躍推進を応援するイベントや、男性や子どもが男女共同参画を主体的に考えられる講座等を開催し、幅広い市民の参加促進に努める。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	男女共同参画の推進に主体的に参加したいと思う人の割合 【算出式: アンケートにより今後も男女共同参画の推進に主体的に参加したいと回答した人数/参加者人数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90	91	92		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.53	0.49	0.45
正職員数	0.29	0.29	0.25
非正規職員数(計)	0.24	0.20	0.20
再任用職員数	0.24	0.20	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,350	3,290	3,024
正職員人件費(換算額)	2,283	2,306	2,004
非正規職員人件費(計)	1,067	984	1,020
再任用職員人件費(換算額)	1,067	984	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	707	473	497
■事務事業の総計(千円)	4,057	3,763	3,521
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,057	3,763	3,521

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>市民、市で構成した市民主体の実行委員会形式で市民が主体的に男女共同参画に関する講座、イベント等を企画、実施したほか、市民グループや個人による展示、販売などを行った。会場であるメセナひらかた会館の工事が例年と違う時期に行ったこともあり、参加者は微減となった。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティ当事者でシンガーソングライターの方による講演会、コンサート(89人) ・映画上映会「ズートピア」2回上映(103人) ・LGBT、ワーク・ライフ・バランスパネル展示 ・ウィルdeインストラクター(市民公募による講座等) 6グループ(96人) ・ウィルdeオーナー(市民公募による展示・カフェ) 8グループ(272人) ・ワンテーブルショップ 14グループ(192人) 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	市民が主体的に男女共同参画について考え、市と協働して取り組むことができる催しを継続して実施する。	

事務事業実績測定調書

10212010002	女性のための各種相談事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	12. 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	
	取り組みの方向	45. 固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。	
	実行計画事業名	男女共同参画啓発・相談事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1992 (H04) 年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	相談者が必要な時に相談し、助言を受け、自立を図ることが出来ている状態。				
事業概要	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に各種女性相談事業及び男性のための電話相談事業を委託して実施。相談者の立場を尊重した相談と各種情報提供や助言を行う。法律相談は女性弁護士が対応、面接相談と電話相談は女性相談員が対応、男性のための電話相談は男性相談員が対応。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	自立に向け相談が役に立ったと答えた人の割合 【算出式: アンケートにより相談が役に立ったと回答した人数/相談者数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90	91	92		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.75	0.65	0.60
正職員数	0.25	0.20	0.20
非正規職員数(計)	0.50	0.45	0.40
再任用職員数	0.10	0.05	0.05
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.40	0.40	0.35
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,311	2,915	2,803
正職員人件費(換算額)	1,969	1,590	1,603
非正規職員人件費(計)	1,342	1,325	1,200
再任用職員人件費(換算額)	444	246	255
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	898	1,079	945
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	7,720	9,274	9,819
■事務事業の総計(千円)	11,031	12,189	12,622
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,031	12,189	12,622

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に各種女性相談事業及び男性のための電話相談事業を委託して実施。相談者の立場を尊重した相談への対応と、各種情報提供や助言を行った。女性のための法律相談は女性弁護士が対応、面接相談と電話相談は女性相談員が対応。男性のための電話相談は男性相談員が対応した。</p> <p>女性のための各種相談 ・法律相談 112件 ・面接相談 424件 ・電話相談 587件 男性のための電話相談 15件</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も、相談者の立場に立った相談を行っていく。男性のための電話相談についてはさらに周知に努める。	

事務事業実績測定調査

10212010003		男女共同参画啓発事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	11500300	市長公室人権政策室	
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標	12. 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち		
	取り組みの方向	45. 固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。		
	実行計画事業名	男女共同参画啓発・相談事業		
総合計画体系②	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標	12. 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち		
	取り組みの方向	46. 男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進を図ります。		
	実行計画事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1993 (H05) 年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	男女共同参画に関する知識や情報を得ることで、男女共同参画意識が向上できている状態				
事業概要	男女共生フロア・ウィルを拠点として、あらゆる分野での男女共同参画推進のため、多面的な講座を実施する。・男女共同参画週間事業: 毎年6月23日から29日までの男女共同参画週間に合わせ、外部講師による講演会を実施・啓発講座: 男女共同参画に関わる各種講座、映画会、ひとり親家庭情報交換事業、就労支援講座などを実施				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	イベントに参加し、男女共同参画の理解が深まったと答えた人の割合 【算出式: アンケートにより理解が深まったと回答した人数/参加者人数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	95	96	97		
実績	93.6					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.35	1.44	1.12
正職員数	0.95	1.04	0.61
非正規職員数(計)	0.40	0.40	0.51
再任用職員数	0.30	0.30	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.10	0.10	0.09
臨時職員数	0.00	0.00	0.12
■人件費総額(千円)	9,038	10,016	6,888
正職員人件費(換算額)	7,480	8,269	4,890
非正規職員人件費(計)	1,558	1,747	1,998
再任用職員人件費(換算額)	1,333	1,477	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	225	270	243
臨時職員人件費(実額)	0	0	226
■直接経費(千円)	1,780	2,108	1,356
■事務事業の総計(千円)	10,818	12,124	8,244
国庫支出金	86	84	111
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	3	0	2
一般財源	10,729	12,040	8,131

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間事業「男の家事が社会を救う！ 楽しく学べるジェンダー論」(6/29 83人) ・離婚を考える女性のための連続講座「離婚しても困らないための住宅探しの基礎知識」(11/11 12人) ・離婚を考える女性のための連続講座「離婚が頭をよぎったら知っておきたいお金の話 家計・保険・仕事」(11/18 16人) ・女性のための基礎から学ぶ起業セミナー(1/29 2/12 計57人) ・ウィルdeシネマ「愛と法」(8/29 2回上映 135人) 「空と、木の実と。」(8/30 51人) ・シングルマザーズ・カフェ(交流会、ひとり親制度説明会等)(5～3月 (1月除く) 計10回 延べ17人) ・ウィル寄り道講座(ウィル寄り道映画会含む)(8回 延べ91人) ・情報誌「モアメイド」原画展(92人) <p>令和元(2019)年度は、講座、映画会等で通常使用しているメセナひらかた会館の大規模工事があり、講座数を減らしたり、いつもと違う時期に講座を実施したりしたため、例年通りに講座を実施することが難しかった。また、新規事業として性的マイノリティ支援事業を開始したため、男女共同参画啓発事業への正職員の配置は減となった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	「第3次枚方市男女共同参画計画」に基づき、固定的な性格役割分担意識により生まれる様々な生きづらさを解消できるよう、市民のニーズを図りながら、講座などの啓発事業を引き続き実施する。	

事務事業実績測定調書

10212010004	男女共同参画計画推進事業		
測定年度	2019(R1)年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	
	取り組みの方向	45.固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。	
	実行計画事業名	政策等の意思決定等における男女共同参画推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2002(H14)年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管する各事業を男女共同参画計画に基づき、男女共同参画の視点を持って事業が実施できている状態				
事業概要	<p>・「第3次枚方市男女共同参画計画」の具体的な取り組みを定めた「第3次枚方市男女共同参画計画アクションプログラム前期(平成28～令和2年度)」に基づいた施策展開を着実に推進するため、毎年度、取り組みの実施状況を取りまとめ、公表する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	男女共同参画推進担当者研修の参加者数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	115	115	115		
実績	190					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	8.72	8.72	8.79
正職員数	0.72	0.72	0.79
非正規職員数(計)	8.00	8.00	8.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	8.00	8.00	8.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,726	5,782	6,409
正職員人件費(換算額)	5,669	5,725	6,333
非正規職員人件費(計)	57	57	76
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	57	57	76
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	1,706
■事務事業の総計(千円)	5,726	5,782	8,115
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,726	5,782	8,115

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	「第3次枚方市男女共同参画計画」の具体的な取り組みを定めた「第3次枚方市男女共同参画計画アクションプログラム前期(平成28～令和2年度)」に基づいた施策展開を着実に推進するため、取り組みの実施状況を取りまとめ、公表した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	「第3次枚方市男女共同参画計画」に基づき、取り組みを推進する。令和2年度に計画の中間見直しを行い、後期アクションプログラムを策定する。	

事務事業実績測定調査

10212010007	男女共同参画活動ルーム(メセナひらかた会館3階)施設維持管理事業		
測定年度	2019(R1)年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	
	取り組みの方向	45.固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2017(H29)年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進拠点施設の管理運営に関する規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	男女共同参画活動ルームの利用者が安全快適に利用できるような施設保全や保守点検等が適切に実施できている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 名称:男女共同参画活動ルーム及び情報コーナー(枚方市立メセナひらかた会館3階の一部) 所在地:枚方市新町2丁目1番5号 面積:279.2㎡ 事業内容 男女共同参画活動ルーム及び団体ロッカーの鍵の貸出及び管理、拾得物の受付、開館時間内の定期的な巡回及び最終退出者の確認 等 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	男女共同参画活動ルームの利用回数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	回
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	76					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.02	0.02	0.02
正職員数	0.01	0.01	0.01
非正規職員数(計)	0.01	0.01	0.01
再任用職員数	0.01	0.01	0.01
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	123	129	131
正職員人件費(換算額)	79	80	80
非正規職員人件費(計)	44	49	51
再任用職員人件費(換算額)	44	49	51
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	143	143	145
■事務事業の総計(千円)	266	272	276
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	266	272	276

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	男女共同参画活動ルームの利用者が安全快適に利用できるよう施設保全や保守点検を適切に実施し、76回の利用があった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、利用者が安全快適に施設を利用できるように取り組む。	

事務事業実績測定調書

10212020003	男女共生フロア(サンプラザ3号館4階)施設維持管理事業		
測定年度	2019(R1)年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	
	取り組みの方向	46.男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2017(H29)年度		～		
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進拠点施設の管理運営に関する規則				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	男女共生フロア・ウィルの利用者が安全快適に利用できるような施設保全や保守点検等が実施できている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 名称:枚方市男女共生フロア・ウィル 所在地:枚方市岡東町12番3-410号 事務内容 業務中に不審者が現れた際の来所者及び職員の安全確保並びに業務終了後の事務室への不法侵入及び盗難防止を図るなどの警備保安業務 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	男女共生フロア・ウィルを安全に利用した日数(無事故開所日数)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	日
目標(予測)	—	257	257	257		
実績	253					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.01	0.01	0.01
正職員数	0.01	0.01	0.01
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	79	80	80
正職員人件費(換算額)	79	80	80
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	104	104	105
■事務事業の総計(千円)	183	184	185
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	183	184	185

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	施設の維持管理を適切に行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、男女共生フロア・ウィルの利用者が安全に利用できるよう、施設の適切な維持管理を行う。	

事務事業実績測定調査

10213010001	平和に関する啓発事業			
測定年度	2019(R1)年度	11500300	市長公室人権政策室	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標	13.平和の大切さを後世に伝えるまち		
	取り組みの方向	47.平和な社会の実現に向けて、平和意識の向上を図り、戦争の悲惨さを後世に伝える取り組みを進めます。		
	実行計画事業名	平和啓発事業		
総合計画体系②	基本目標			
	施策目標			
	取り組みの方向			
	実行計画事業名			

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1968(S43)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	平和に関する啓発事業等を通じて、市民の平和意識の醸成が図られている状態。				
事業概要	<p>○市民への日本国憲法の理念の定着や平和意識の醸成のため啓発事業を実施する。 ・講演会「憲法のつどい」 ・平和資料室通年展示「禁野火薬庫の爆発」及び特別展示 ・平和映画会 ・妙見山の煙突見学会 ・バスで巡る市内の戦争遺跡</p> <p>○非核平和都市宣言の啓発を行うとともに、核兵器の廃絶を求め、平和な社会を実現するための啓発に取り組む。 ・夏休み平和映画会 ・戦跡案内等平和学習への協力 ・その他平和団体等への協力 ・核実験に対する抗議</p> <p>○「枚方市平和の日」を記念して啓発事業を実施する。 ・「枚方市平和の燈火(あかり)」 ・ひらかた平和フォーラム ・エフエムひらかた平和の日特別番組 ・市民ギャラリーでの企画展 ・平和映画会 ・平和ライブラリーコンサート</p> <p>○平和の鐘カリヨンを1日10回定時に鳴らすとともに、原爆が投下された8月6日(広島)、8月9日(長崎)、終戦記念日の8月15日、国際平和デーの9月21日、枚方市平和の日の3月1日に鳴らし、平和意識の醸成に努めている。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	主な平和啓発事業のアンケート結果における「大変満足した」及び「まあ満足した」の割合。実績ベース(86%)から毎年1%を目途に上昇を目指し、R5年度は90%を目標とする。 【算出式:「大変満足した」及び「まあ満足した」と回答した人数/アンケート回答数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	87	88	89		
実績	85.12					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.00	2.19	2.06
正職員数	2.00	2.19	2.06
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	15,748	17,413	16,515
正職員人件費(換算額)	15,748	17,413	16,515
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	6,506	6,189	4,650
■事務事業の総計(千円)	22,254	23,602	21,165
国庫支出金	0	0	0
府支出金	190	235	235
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	22,064	23,367	20,930

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	52.97%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妙見山の煙突見学会(4/6 308人、11/16 54人) ・第51回憲法をつどい 枚方第二小学校の児童による日本国憲法前文の朗読、講演「ダウン症の娘と共に生きて」(5/24 326人) 講師: 金澤泰子さん(書家)、揮毫: 金澤翔子さん(書家) ・平和資料室特別展 絵本「へいわってすてきだね」長谷川 義史原画展(7/27~8/8 1,205人) ・平和ライブラリーコンサート(8/3 120人) ・夏季平和映画会 映画「夕風の街 桜の国」(7/27 189人) ・平和映画会「ちいちゃんのかげおくり」、絵本の読み聞かせ 絵本「へいわってすてきだね」など(8/3 42人、8/4 62人) ・枚方まつり 平和ブース(8/24 121人) ・バスで巡る市内の戦争遺跡(10/31 20人、11/16 15人) ・禁野火薬庫の爆発 ミニパネル展(2/25~3/13) ・エフエムひらかた平和特別番組(3/1・3/2放送) ・企画展「片山長三展」(2/28~3/11 902人) ・平和の燈火(あかり)イベント ・キャンドルカップ記入ブース(12/14)、大学生による平和の出前講座(2/12・2/20)、大学生による平和に関する絵本の読み聞かせ(2/16) <p>この他、平和資料室通年展示や原爆投下時刻に平和の鐘カリヨンを鳴らすなど、市民の平和意識の醸成に努めた。なお、例年開催しているひらかた平和フォーラム、平和の燈火(あかり)(一部のイベントを含む)、平和映画会、平和ライブラリーコンサートについては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	事業決定の際には、新しい生活様式に配慮し、事業実施の趣旨と集客力の双方に視点を置くとともに、関係部局とも連携を図ることで、より効果的な啓発事業を実施する。	

事務事業実績測定調査

10999990007	人権政策室運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	11500300	市長公室人権政策室
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	人権政策室の運営が円滑に図られている				
事業概要	<p>人権政策室運営事務: ①議会答弁関係 ②事務事業関係 ③環境評価関係 ④各種団体要望関係 ⑤大阪府等庁外への照会回答関係 等</p> <p>人権政策室庶務関係: ①人権政策室の予算・決算に関する事務 ②職員の服務関係 ③物品の発注関係 ④文書の収受・発送関係 ⑤備品の管理関係 ⑥啓発資料の貸し出し関係 等</p>				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.18	3.29	3.13
正職員数	2.88	2.95	2.81
非正規職員数(計)	0.30	0.34	0.32
再任用職員数	0.30	0.34	0.32
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	24,010	25,128	24,159
正職員人件費(換算額)	22,677	23,455	22,528
非正規職員人件費(計)	1,333	1,673	1,631
再任用職員人件費(換算額)	1,333	1,673	1,631
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,557	2,880	3,538
■事務事業の総計(千円)	26,567	28,008	27,697
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	26,567	28,008	27,697

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	各運営・庶務関係事務を的確かつ迅速に処理することにより、円滑な事務執行に務めた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、適正かつ効率的な事務施行に努める。	